

台風19号 各地での支援活動のご報告と募金のお願い

グリーンコープ共同体

15都県に及ぶ広範囲に甚大な被害をもたらした台風19号は、グリーンコープの産直生産者やお取引先工場にも甚大な被害をもたらしました。

10月14日～1月25日までに集まった支援募金は約5,000万円と、たくさんのご協力をいただいています。本当にありがとうございます。またお取引先の皆さまからも100万円を超える支援金をいただいています。皆さまから寄せられた支援募金は被害を受けた生産者やお取引先、そして被災された皆さんへの支援に活用させていただきます。

被害は甚大で、継続した支援が必要です。引き続き、災害支援募金へのご協力をお願いします。

1月20日、長野県で台風19号被害を受けられた産地（ハケタ会・信濃五岳会・ながの農協飯綱・ながの農協野菜部信濃町支部）の生産者の皆様が、この間のお礼に来られました。



後方 ハケタ会
信濃五岳会
ながの農協野菜部信濃町支部
ながの農協飯綱の皆さん

前方 グリーンコープ共同体
理事長会の皆さん

<ハケタ会>

翌日（1月21日）、グリーンクラブ（グリーンコープと取引のある納入業者の会）の臨時総会へ、被災された長野の生産者の皆さまをお招きしました。グリーンクラブからもたくさんの支援をいただいていますので、生産者からお礼の挨拶がありました。



<信濃五岳会>



<ながの農協飯綱>



<ながの農協野菜部信濃町支部>



台風19号災害支援募金

専用申込書に印字しています。数量（口数）を記入ください。
【例】一口200円を数量欄に「2」と申し込まれた場合400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

申込番号	010	一口200円
	011	一口500円

QRコードをスマートフォンのバーコードリーダー等のアプリを使って読み込んでください。グリーンコープ災害支援の内容はインスタグラム「災害支援 by グリーンコープ」にて日々配信しております。



<引き続き、長野支援を行っています。>

1月25日、生産者の皆さんと話し合いの場を設けて、今後、ハケタ会の生産者の皆さんにとって、また、地域の皆さんにとって必要とされる支援の内容をお伺いしました。

～生産者より～

◇水害にあった農機具などを新たに購入しなければならないが、国からの補助金はあるものの、一旦全額を支払わなければならない。経済的な負担が大きい。

◇来年の収穫に向けてりんごの木の剪定作業に入った。グリーンコープから何か手伝えることがあればと言っていたので、作業としては切った木を粉砕機にかける作業を手伝っていただけると助かる。



土砂はまだまだ堆積していますので、土砂出し作業を行いました。写真は、木の苗木周辺をスコップで泥を出している写真です。今後も美味しいりんごができるように作業を進めています。

生産者は組合員へりんごをお届けできるように日々、復旧作業を頑張っています。引き続き、生産者に寄り添って、支援を行っていきます。

～引き続き支援を行っていきます～

東日本大震災の被災地でも台風19号、台風21号の被害が発生しています。早期復興が東日本大震災の被災地を応援することに繋がります。

<岩手県山田町 田の浜地区>

被災者の方々が入居されている仮設は東日本大震災時に建設された仮設住宅で、2020年1月末で全ての方が退去され、その後、撤去されることになっていました。

今回の台風19号被害の避難先として東日本大震災時に建設された仮設住宅を活用されていますが、いつまで入居できるのか確定されてなく、避難者の方々も心配されていましたが、町役場から2年間入居可能の連絡が入り皆さん一安心されていました。

1月8日に訪問した際、娘の成人式用の振袖が水没して、準備も出来そうにないので振袖は諦めておられました。グリーンコープのファイバーリサイクルセンターに相談したところ在庫があり急ぎお届けしました。とても喜んで頂けました。



ファイバーリサイクルセンターから振袖をお届けしました。



グリーンコープの物流センターで生活応援セットを準備している様子です。

家屋修繕され自宅に戻られる方もおられ、新たな生活のスタートに合わせて、グリーンコープ商品を詰めた生活応援セットを段ボールに詰めてお届けしています。グリーンコープ生活応援セットの準備は、グリーンコープの物流センターのパートさんが準備梱包を手伝っていただき被災地にお届けしています。



自宅再建されたお宅へ生活応援セットをお届けしました。